



3党団長が登壇、知事答弁

県議会2月定例会は28日、代表質問があり、自民・中野治美(津島市、写真①)、民進・富田昭雄(名東区、同②)、公明・渡会克明(豊橋市、同③)の3党団長が登壇した。

三河港一帯 県境越え連携、インフラ整備

公明・渡会さんは、三河港一帯の整備をただした。

豊田自動織機海陽ヨットハーバー(蒲郡市)を会場に10月、セーリング・ワールドカップ(W杯)が国内で初めて開かれる。県は浮棧橋1基と艇庫、クラブハウスを増設し、大型クルーズ船や自動車運搬船が寄港できる岸壁も整備する。

昨年2月に新東名高速道路の県内区間が開通し、三河地方を訪れる観光客は増加。知事は「産業や観光面で交流を促進し、県境を越えて地域の連携を深めるインフラなどの整備に重点的に取り組む」と述べた。

